

「農」の専門部会
～ 調査検討経過について～

- 1 「農」の専門部会～調査検討経過について～ P 1
- 2 課題解決のための調査検討シート P 3
(食育を通じた交流)
- 3 王禅寺小学校における「農作業」に関するニーズ調査結果
及び具体的な取組内容について P 4
- 4 農業体験、食育を通じた交流イメージ(案) P 5
- 5 (参考)川崎市地域教育会議 P 6
- 6 課題解決のための調査検討シート P 7
(市場、直売所を通じた交流)
- 7 課題解決のための調査検討シート P 8
(市民農園を通じた交流)

「農」の専門部会～調査検討経過について～

区 分		調査検討内容
会議名	年月日	
第3回区民会議	18.12.22	・専門部会の設置を決定
第1回専門部会	19.1.16	・正副部会長の選出 ・部会名称の決定 ・調査事例の絞込み (優先順位の決定 事例から検討)
第2回専門部会	19.2.14	・事例 の調査検討
[校長会へアンケート実施依頼]	19.2.27	・小学校校長会に出席し、アンケートを依頼
[アンケート実施]	19.3.6	・小学校あてアンケート依頼
第3回専門部会	19.3.8	・事例 の調査検討
第4回区民会議	19.3.22	・調査検討経過の報告
[アンケート回収]	19.3.28	・アンケート回答期限
第4回専門部会	19.4.19	・事例 の調査検討
第5回専門部会	19.5.9	・事例 の調査検討
[王禅寺小訪問]	19.5.15	・事前調査の実施(事務局)
第6回専門部会	19.5.22	・事例 の調査検討
[校長会へアンケート結果報告]	19.5.29	・小学校校長会に出席し、アンケート結果を報告
第5回区民会議	19.6.6	・調査検討経過の報告
第7回専門部会	19.6.11	・事例 の調査検討
[王禅寺小訪問 (部会長、委員2名)]	19.7.2	・提案内容(交流イメージ)の説明 ・学校にニーズ調査を依頼 ・学校農園の現地確認
第8回専門部会	19.7.9	・事例 の調査検討 ・次に調査検討する事例の選定
[王禅寺小回答]	19.7.24	・ニーズ調査回答
第9回専門部会	19.8.9	・事例 の調査検討 ・事例 、 の調査検討 事例 から優先的に検討
[王禅寺小関係者]	19.9.3	・地元町内会、関係者へ説明
第10回専門部会	19.9.6	・事例 の調査検討 ・事例 の調査検討
[王禅寺小訪問 (正副部会長)]	19.9.19	・具体的な取組内容の検討

事例 市民農園を通じての交流	事例 市場、直売所を通じての交流	事例 食育を通じての交流
・現状の取組等の把握	・現状の取組等の把握	・現状の取組等の把握
		・小学校へのアンケートの実施 内容の検討 ・関係者からの意見聴取 体験農業実行委員会 JAセレサ川崎
		・課題解決策のアイデアの検討
		・審議事例として決定 ・アンケートの実施決定
		・アンケート結果を受けての今後の方向性の検討
		・モデル校の選定 ・モデル校に対する事前調査内容の検討
		・モデル校での取組方法の検討 ・「農」のアイデアシートの検討
		・王禅寺前小学校でのモデル実施の決定
		・学校への提案内容の検討
		・学校訪問結果を受けての今後の進め方の検討
・現状の把握 (法的に困難な問題が多い)	・JA大型農産物直売所(セレサモス)の概要把握 ・大型農産物直売所を通じた交流の検討	・学校のニーズに応じ、学校農園にリーダー、サポーターを派遣 ・地元町内会、学校関係者への事前の了解
	・JA大型農産物直売所(セレサモス)を通じた交流の検討	・具体的な取組内容(リーダー・サポーターの人数・募集方法、実施内容・時期等)の検討

区 分		調査検討内容	事例 市民農園	事例 市場、直売	事例 食育を通じての
会議名	年月日		を通じての交流	所を通じての交流	交流
第6回区民会議	19.10.5	・調査検討経過の報告	・部会での調査検討状況を報告	・大型農産物直売所を通じた交流に関する「課題の解決策のアイデア」について意見交換	・現在までの進捗状況の説明、モデル事業実施に向けた意見交換
【王禅寺小回答】	19.10.9	・具体的な取組内容の回答			
第11回専門部会	19.11.2	・事例 の調査検討 ・次に調査検討する事例について		・JA大型農産物直売所(セレスモス)を通じた交流の検討	・学校からの回答を受け、今後の進め方について検討 地域教育会議に協力を依頼することが可能か確認する
【王禅寺中学校地域教育会議議長に連絡】	19.11.24	・これまでの検討経過等を説明(委員から)			
第12回専門部会	19.11.26	・事例 の調査検討 ・事例 、 の今後の進め方について検討	・これまでの経過を説明、委員の意見を聴いた上、今後の進め方を検討	・これまでの経過を説明、委員の意見を聴いた上、今後の進め方を検討	・学校訪問結果等を受けて今後の進め方について検討
【王禅寺小学校に連絡】	19.11.27	・経過説明			
【王禅寺中学校区地域教育会議議長と面会】 (部会長、委員1名)	19.12.5	・これまでの検討経過、交流イメージ等を説明し、今後の方向性について協議 ～ 白山小・中学校との統合を控え、次年度に地域教育会議として取り組むのは困難～			
第7回区民会議	19.12.20	・調査検討経過の報告			

区の課題

課題解決のための調査検討シート

～「農」の専門部会～

1. 区の課題

標題
『心が響きあう地域づくり』
事例～地元農産物と地域の交流

課題の内容
～麻生区特性である「農」を通じて、どのように「地域づくり」につなげていくか～

[課題の絞込み] ～19.1.16～
市民農園を通じての交流
市場、直売所を通じての交流
食育を通じての交流

2. 課題に対する現状の行政・区民等の取り組み

行政の取り組み

ア かわさき「農」の新生プランに基づく施策の推進

イ **体験農業 親子で米づくり** (協働推進事業)
～19.2.14～
【関係者(実行委員長)から意見聴取】

ウ **学校における農業体験、食育に関する取組**
～19.3.7～
【小学校あてアンケートの送付】

区民等の取り組み

ア **次世代・地域住民との交流事業(JA)**
～19.2.14～
【関係者(JAセガ川崎)から意見聴取】

イ 直売所を通じた農産物の販売

3. 課題の解決策のアイデア

集会場等で、農家の方から、区民が、料理(梅干、豚汁、たんあん、など)を覚えてもらう。
家庭菜園ための知識・ノウハウを覚えてもらう。
覚えてもらった人が、さらに初めての人に教える仕組みづくり(農のサポーター)

行政などが、野菜や花卉の苗・球根を配布し、区民は、その育て方などを覚えてもらう。(柿の木事例あり、3年で100本の苗配布・課題・資金)

畑で、農家から、区民が、いちご等の生産物を、一定単位(畝など)で購入できる仕組みづくり

市等の広報誌に、児童などが地元の農家にヒアリングし、記事を作成・掲載

区民の生ごみの堆肥化を促進し、その堆肥を地元農家に利用してもらう。

[学校関連]

「給食だより」に、農家あるいは児童が、地元農家や農産物の紹介等の記事を作成・掲載

学校の花壇に、球根や農家で売れ残った花などを植えに行く。

学校の花壇を畑に転用

アンケート結果の取りまとめ、情報の提供

4. 課題解決策の具体化に向けた検討

<p>短期的対応策</p> <p>ア 小学校におけるアンケート結果の取りまとめ・情報の提供(各小学校、教育委員会、関係機関等)</p> <p>イ 食育を通じての地域の交流(モデル校)</p> <p>「王禅寺小学校」をモデル校として学校農園ヘリダー・サポーターを派遣</p> <p>地域の団体(「王禅寺中学校区地域教育会議など)や個人に学校との連携窓口を依頼</p> <p>達成期間 ・平成20年度まで</p>	<p>主な担い手と役割</p> <p>区民 ・農業従事者、経験者の派遣 ・農の市民サポーター</p> <p>区 ・農業従事者、サポーター等の募集・紹介 ・取組事例の広報</p> <p>〇市 ・教育委員会、経済局等による事業の推進</p>	<p>予算見込額の検討</p> <p>予算確保の手法</p>
<p>中・長期的対応策</p> <p>ア 食育を通じての地域の交流(各小学校)</p> <p>イ 食育推進会議との連携</p> <p>達成期間 ・平成21年度以降</p>	<p>主な担い手と役割</p> <p>区民 ・農業従事者、経験者の派遣 ・農の市民サポーター</p> <p>区 ・農業従事者、サポーター等の募集・紹介 ・取組事例の広報</p> <p>〇市 ・教育委員会、経済局等による事業の推進</p>	<p>予算見込み額の検討</p> <p>予算確保の手法</p>
<p>関係部局・機関等</p> <p>・教育委員会 ・経済局</p>		

5. 課題解決により期待される効果、成果

ア 食育を通じた地域との交流

イ 地産地消の推進

6. 総合計画上の位置付け

ア 人を育て心を育むまちづくり

イ 個性と魅力が輝くまちづくり

ウ 参加と協働による市民自治のまちづくり

7. 課題解決に向けた取組

ア 関係機関等へのアンケート結果の情報提供

イ 農業従事者、経験者、農業サポーターの募集や支援を希望する学校への派遣

8. 課題解決への取組の評価、進行管理

評価

進行管理

王禅寺小学校における「農作業」に関するニーズ調査の結果について

対 象	場 所	内 容	時 期	指導・作業を 依頼したい人	具体的に関わってほしい内容
学校全体	校外農園	「さつまいも」づくり	5月～11月	指導者 地域住民	[5月] ・土起こし ・畝づくり ・まるち(黒ビニール)がけ ・苗植え ↑ ・水やり ・草取り ↓ [11月] ・収穫時の手伝い ・やきいものやり方 ・茶巾しぼりの料理方法
1年生	校内学年園	「球根」の植え方、 育て方	10月	指導者	・鉢植えの仕方 ・育て方 ・世話の仕方
2年生	校内学年園	「野菜(トマト、ナ ス、ピーマン等)」 のつくり方	5月～7月	指導者	・土づくりの仕方 ・育て方 ・世話の仕方

*3年生～6年生 = 要望事項なし。

平成19年9月19日
王禅寺小学校訪問

王禅寺小学校における「農作業」に関する具体的な取組内容について

1	日 時	平成19年9月19日(水)午前10時～午前11時
2	訪問委員	尾中部会長、高桑副部会長、事務局
3	趣 旨	ニーズ調査の結果を受け、具体的な取組内容を検討する。
4	主な経過	19.7.2 学校訪問(委員3名)～「交流イメージ」の説明、「ニーズ調査」を依頼 19.7.24 「ニーズ調査」結果回答(上記のとおり) 19.9.3 地元町内会、関係者(校外農園所有者、田んぼ指導者等)等へ事前説明 19.9.19 学校訪問(部会長・副部会長)、具体的な取組内容の検討

具体的な取組内容の検討について

- 当初は、校外農園(畑)を中心に取組を進めていく。
- 想定される内容、手順等
農作業の中心となる指導者(リーダー)を決定する。
リーダーの条件として、地域に居住している人、子どもとのかかわりを大事にしてくれる人、学校教育に理解がある人が望ましい。
リーダーをサポートする人を集める。
畑の規模からすると、サポーターの人数それほど多くは必要としない。
サポーターは、地域への呼びかけを進め徐々に増やしながらか、地域全体へ広がりをもたせていく。
- 今後の進め方について
～学校側に具体的な要望の取りまとめを依頼～
いつから(カリキュラムの関係で次年度から、11月の収穫祭から など)
かかわる内容(土起こし、水やり、草取りなどの具体的な作業メニュー)
かかわり方、人数(学校との具体的なかかわり方、指導者及びサポーターの人数 など)

平成19年10月9日
王禅寺小学校から回答

王禅寺小学校からの回答

今後の進め方について

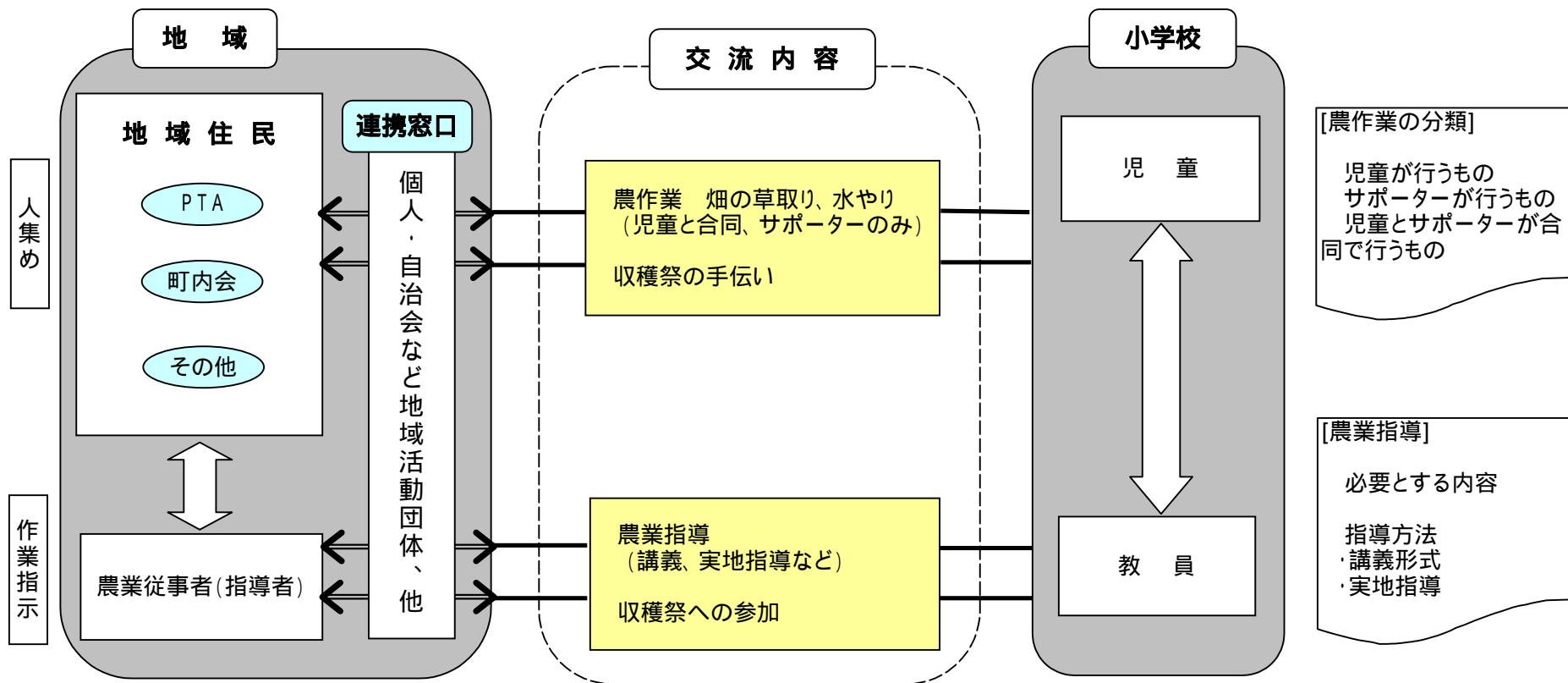
いつから 次年度から
かかわる内容 「畑」の支援
かかわり方、人数 「畑」のリーダー+サポーター数人から始める

[リーダー選び 誰が、どのような方法で探し、学校に紹介するのか]

農業体験、食育を通じた交流イメージ(案)

平成19年12月 7日 02版
平成19年 7月 2日 01版

目的 = 地域のつながりをつくる



[農作業の分類]
児童が行うもの
サポーターが行うもの
児童とサポーターが合同で行うもの

[農業指導]
必要とする内容
指導方法
・講義形式
・実地指導

作業指示

人集め

リーダー(学校と地域の連携窓口)の選任方法
・地域毎に最適なリーダーを、学校と地域の活動団体とで調整し、選任
企画の周知、人集め
・ポスター
・回覧板
・口伝え など

区民会議

行政

川崎市地域教育会議

設立の経緯について

1980年代に川崎市で金属バットによる両親殺害事件、横浜市で中学生による野宿生活者殺人事件がおき、国民に大きな衝撃を与えました。

このような背景の中で、82年「神奈川の教育を考える県民会議」発足に続き、川崎でも84(昭和59)年、「川崎の教育推進事業」の一つとして、「川崎の教育を考える市民会議」が開催され、「子どもたちのために今私たちは何をしたらいいか」をテーマに、2年間にわたり全市242箇所、総計4万人が集い、6,500件の意見を集約する市民討議が展開されました。

これと並行して「川崎の教育推進事業」の中で教育のあり方についての調査・研究のために組織された川崎市教育懇談会より、1986(昭和61)年に『いきいきとした川崎の教育をめざして』が報告されました。これは『元気』をキーワードに子ども・大人(親・教員)・地域が連携しつつ、

教育の社会化(開かれた学校)

地域の教育化(生涯学習の推進)

行政の市民化(市民の参画)

の3つを柱に据えて、新たな教育を模索しつつ推進していく構想を提示した内容のものです。

この中の具体的提言の一つに「地域教育会議の創設」がありました。

1988(昭和63)年より開始された行政区での「教育を語るつどい」に引き続き、川崎市教育懇話会からの「地域教育会議の基本的な考え方と試行の進め方について」の報告を受けた1990(平成2)年より、数区ずつ地域教育会議の試行が委嘱され、1997(平成9)年には、全51中学校区、全7行政区での地域教育会議がスタートしました。

地域教育会議の組織

中学校区・行政区地域教育会議は、川崎市から委託事業として、川崎市地域教育会議推進協議会が受託し、事業実施組織として、全中学校学校区51箇所、全行政区7箇所、合計58箇所に設置しています。各地域教育会議は、それぞれの規約に基き、委員を選出し、川崎市地域教育会議推進協議会から配分された経費により、調査研究、広報、子ども会議・教育を語るつどいなどの事業を実施しています。

川崎市地域教育会議推進協議会は、社会教育関係団体、青少年育成関係団体、学校関係者、行政区地域教育会議議長、行政職員により構成され、地域教育会議の全体的な調整を行うために協議を行っています。事務局は、所管課である川崎市教育委員会生涯学習部生涯学習推進課におかれています。

地域教育会議の活動

- 1 広報誌の発行
- 2 教育を語るつどい
- 3 調査提言活動
- 4 子ども会議
- 5 生涯学習活動・その他

区の課題

課題解決のための調査検討シート

～「農」の専門部会～

1. 区の課題

標題
『心が響きあう地域づくり』
事例～地元農産物と地域の交流

課題の内容
～麻生区特性である「農」を通じて、どのように「地域づくり」につなげていくか～

[課題の絞込み] ～19.1.16～
市民農園を通じての交流
市場、直売所を通じての交流
食育を通じての交流

2. 課題に対する現状の行政・区民等の取り組み

行政の取り組み

ア かわさき「農」の新生プランに基づく施策の推進

・花と緑の市民フェア
・品評会、園芸博覧会
・畜産まつり など

区民等の取り組み

ア 次世代・地域住民との交流事業(JA)
イ 農業まつり、園芸まつり(JA)
ウ 「セレサモス」のオープン(JA)
エ 直売所を通じた農産物の販売 など

3. 課題の解決策のアイデア

大型農産物直売所「セレサモス」(平成20年4月オープン予定、麻生区黒川)を核とした交流

【情報コーナーを活用した区民との交流の推進】

- ・農家が区民に野菜の調理法を教える。
- ・農家が区民に花や野菜などの栽培方法についての相談・指導を行う。
- ・農産物の収穫期に合わせたイベントを行う。
- ・地元の農産物(禅寺丸柿、万福寺にんじんなど)の紹介・展示・販売

身近な直売所のマップづくり
・生産者と区民との身近な交流
・地産地消の推進

4. 課題解決策の具体化に向けた検討

短期的対応策

ア JAに区民との交流につながる取組の推進を依頼する。

主な担い手と役割 区民 ・農業従事者、区民との交流 区 ・事業広報 ○市 ・農業公園づくり事業の推進等	予算見込み額の検討 予算確保の手法
---	--

達成期間
平成20年4月～

関係部局・機関等
・経済局
・JAセレサ川崎

中・長期的対応策

ア セレサモスの運営状況をみながら、「区民との交流」や「身近な直売所のマップづくり」などを検討する。

主な担い手と役割 区民 区 市	予算見込み額の検討 予算確保の手法
----------------------------------	--

達成期間

関係部局・機関等

5. 課題解決により期待される効果、成果

ア
イ

6. 総合計画上の位置付け

ア
イ

7. 課題解決に向けた取組

ア
イ

8. 課題解決への取組の評価、進行管理

評価
進行管理

区の課題

課題解決のための調査検討シート ～「農」の専門部会～

1. 区の課題

標題
『心が響きあう地域づくり』
事例～地元農産物と地域の交流

課題の内容
～麻生区の特徴である「農」を通じて、どのように「地域づくり」につなげていくか～

[課題の絞込み] ～19.1.16～
市民農園を通じた交流
市場、直売所を通じた交流
食育を通じた交流

2. 課題に対する現状の行政・区民等の取り組み

行政の取り組み

ア かわさき「農」の新生プランに基づく施策の推進
・市民農園
・市民農園リーダー養成
・農(みのり)の寺子屋 など

イ 次世代育成

ウ 農地の適正利用

区民等の取り組み

ア JAふれあい農園
イ 体験型農園(農地所有者) など

↓

～法的に困難な問題が多く、制約がある～

3. 課題の解決策のアイデア
農家が区民に農作業を手伝ってもらおう

4. 課題解決策の具体化に向けた検討

短期的対応策		中・長期的対応策	
ア	主な担い手と役割 区民	ア 経済局の施策をみながら検討を進める。	予算見込み額の検討
イ			
	区		予算確保の手法
	〇市		
	関係部局・機関等		
達成期間		達成期間	

5. 課題解決により期待される効果、成果

ア

イ

6. 総合計画上の位置付け

ア

イ

7. 課題解決に向けた取組

ア

イ

ウ

8. 課題解決への取組の評価、進行管理

評価

進行管理